

NPO法人友愛アカデミー

事業名	第1回目・韓学生フォーラム「世界の平和と環境を考える」			
実施期間	平成24年8月11日(土曜日)			
場 所	広島国際会議場			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	9 名	5 名	26 名	40 名

<実施内容>

福島の原子力発電所事故を受けて、原子爆弾と原子力発電所について考え、発表しました。
 学生のディスカッションの前に、放射線の専門家による講演と、実際に福島県で被災された方のお話を聞きました。



集合写真(講師や講演の方など、先に帰った方もいるので、人数は少ないです。)



放射線の専門家の先生による講演です。



福島県で被災された方のお話です。



留学生と研修生の発表です。



質疑応答中です。

<参加者からのコメント>

権 星(グォン ソン)さん(韓国)

私は原発について全く知識を持っていないですが、原発の事故で感じたことはありました。それは、今から人間が生きていくためには地球のことや人のことを考えなければならないということです。原発も人間の生活を豊かにするために作ったものであると思いますが、人間の誤りでこのような事故が起きたと思います。原子力発電のようなことのみならず、教育や人が活動することなど、全てのことについて深く考えて生きていかなければならないということを感じたのです。それで、今から私も地球を想い、社会を想い、人を想いながら生活していきたいと思うようになりました。

張 慶洙(ジャン ギョンス)さん(韓国)

原子力というのは韓国のエネルギー支出の40%以上を超えています。他の未来エネルギーの開発が進んでいないからです。自国に資源がほとんどない韓国では多くの資源やエネルギーを分別なく使っています。資源やエネルギーを乱用する習慣を直して、時間がかかるかも知れませんが、他のエネルギーを開発しなければいけないと思います。今のまま、資源や原子力を使うのは楽なことかも知れませんが、いま私たちがエネルギー問題を考え、改善することによって、後世の人々が住みやすい世の中になると思います。今回のフォーラムがきっかけで、環境問題や原子力の問題について考えるきっかけとなりました。韓国に帰ってもこのことを忘れずに考えていきたいです。